## 0.1 H18 数学必修

$$\boxed{1} \ (1) \begin{vmatrix} 1-t & 0 & 0 \\ 0 & 3-t & -1 \\ 0 & -1 & 3-t \end{vmatrix} = (1-t)((3-t)^2-1) = (1-t)(t-2)(t-4) = 0 \ \text{TBS}.$$

$$(2)t=1$$
 のとき  $\begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 \\ 0 & 2 & -1 \\ 0 & -1 & 2 \end{pmatrix}$  より,固有ベクトルは  $\begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$  である.

$$t=2$$
 のとき  $\begin{pmatrix} -1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & -1 \\ 0 & -1 & 1 \end{pmatrix}$  より,固有ベクトルは  $\begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$  である.

$$t=4$$
 のとき  $\begin{pmatrix} -3 & 0 & 0 \\ 0 & -1 & -1 \\ 0 & -1 & -1 \end{pmatrix}$  より,固有ベクトルは  $\begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$  である.

各固有ベクトルは互いに直交しているから,
$$P=\begin{pmatrix}1&0&0\\0&1&1\\0&1&-1\end{pmatrix}$$
 すれば, $P^{-1}AP=\begin{pmatrix}1&0&0\\0&2&0\\0&0&4\end{pmatrix}$  で  $P$  は直

交行列.

$$(3)x^2 + 3y^2 + 3z^2 - 2yz = \begin{pmatrix} x & y & z \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 3 & -1 \\ 0 & -1 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$$
 より、最大値は固有値の最大値 4 である.最小

値は固有値の最小値1である.

- ② (1)ab = ba = 1, cd = dc = 1 とする. acdb = dbac = 1 であるから, $ac \in R^{\times}$  である. 結合法則は成り立つ.  $a \in R$  なら  $b \in R$  であるから,逆元も存在する.単位元は 1 であるから, $R^{\times}$  は群.
  - (2) $\mathbb{Z} \ni n \neq 1, -1$  について nm = 1 となる整数 m は存在しないから、 $\mathbb{Z}^{\times} = \{1, -1\}$  である.
- (3) $\mathbb{Z}_n$  の元は  $0,1,\cdots,n-1$  であるから, $\mathbb{Z}_n^{\times}$  の元は  $1,\cdots,n-1$  である.n が素数ならば, $1\leq a\leq n-1$  について (a,n)=1 であるから, $\mathbb{Z}_n^{\times}=\{1,\cdots,n-1\}$  である.
- (3)E を単位行列とする.  $A \in M_2(R)^{ imes}$  なら  $\det A \det A^{-1} = \det E = 1$  であるから、 $\det A \in R^{ imes}$  である. 逆に  $\det A \in R^{ imes}$  なら  $B = \frac{1}{ad-bc} \begin{pmatrix} d & -b \\ -c & a \end{pmatrix}$  とすれば AB = BA = E であるから  $A \in M_2(R)^{ imes}$  である.
- $(4)\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$  は体であるから、 $M_2(\mathbb{Z}/p\mathbb{Z})$  はベクトル空間。 $\det A \neq 0$  は列ベクトルが一次独立であることと同値である。 $A = [v_1, v_2]$  とすると、 $v_1 \neq 0$  となる  $v_1$  は  $p^2 1$  個ある。各  $v_1$  に対して一次独立となる  $v_2$  は  $p^2 p$  個ある。よって  $\det A \neq 0$  となる A は  $(p^2 1)(p^2 p) = p^4 p^3 p^2 + p$  個ある。
  - $\boxed{3}$  (1) $d: X \times X \to \mathbb{R}$  が次の3つ

$$(i)^{\forall} x, y \in X, d(x, y) = 0 \Leftrightarrow x = y$$

$$(ii)^{\forall} x, y \in X, d(x, y) = d(y, x)$$

$$(iii)^{\forall} x, y, z \in X, d(x, z) \le d(x, y) + d(y, z)$$

をみたすとき, (X,d) を距離空間とする.

 $(2)(\mathbf{a})y \in N(q; \varepsilon_2)$  とすると、 $d(p,y) \leq d(p,q) + d(q,y) = d(q,y) + \varepsilon_1 - \varepsilon_2 < \varepsilon_1$  であるから、 $y \in N(p; \varepsilon_1)$  である。すなわち  $N(q; \varepsilon_2) \subset N(p; \varepsilon_1)$  である.

$$(b)x \in N(p,\varepsilon_1) \cap N(p,\varepsilon_2)$$
 とする.  $d(p,q) < d(p,x) + d(q,x) \le \varepsilon_1 + \varepsilon_2$ 

- (3)(a) の逆は偽である.  $X=\mathbb{R}$  とすると, $p=0,q=1, \varepsilon_1=2, \varepsilon_2=1$  とすれば, $N(0;2)\supset N(1;1)$  である. d(p,q)+1=2 より偽.
- (b) の逆は偽である.  $X=(-1,0)\cup(1,2)$  とし、d(x,y)=|x-y| とすれば (X,d) は距離空間である.  $p=-1/2,q=3/2,\varepsilon_1=11/10,\varepsilon=11/10$  とすれば,11/10+11/10>d(3/2,-1/2)=2 である.  $x\in N(-1/2;11/10)\cap N(3/2;11/10)$  とすれば,x<0 である. よって d(x,3/2)>d(0,3/2)=3/2>1 であるから, $x\notin N(3/2;11/10)$  である.
  - $\boxed{4}\ (1)1/n^2 < \int_{n-1}^n x^{-2} dx$  より  $\sum_{n=2}^\infty 1/n^2 < \lim_{n \to \infty} \int_1^n x^{-2} dx = \lim_{n \to \infty} [-1/x]_1^n = 1 1/n = 1$  より収束する.
  - $(2)f_n(x,y) = \sum_{k=0}^n (xy)^k = \frac{1-(xy)^{n+1}}{1-xy} \le 1/(1-a^2)$  であり  $1/(1-a^2)$  は $\int_0^a \int_0^a$ 上可積分. よって優収束定理
- $\mbox{$\sharp$ \mathfrak{d}$ } \int_0^a \int_0^a \lim_{n \to \infty} \sum_{k=0}^{n-1} (xy)^n dx dy = \lim_{n \to \infty} \sum_{k=0}^n \int_0^a \int_0^a (xy)^n dx dy = \lim_{n \to \infty} \sum_{k=0}^n \big[ \frac{x^{n+1}}{n+1} \big]_0^a \big[ \frac{y^{n+1}}{n+1} \big]_0^a = \sum_{n=1}^\infty \frac{a^{2n+1}}{n^2} \big[ \frac{y^{n+1}}{n+1} \big]_0^a = \sum_{n=1}^\infty \frac{a^{2n+1}}{n+1} \big[ \frac{y^{n+1$ 
  - $(3) \lim_{a \to 1-0} \sum_{k=0}^n \int_0^a \int_0^a (xy)^n dx dy = \lim_{a \to 1-0} \sum_{k=1}^n \frac{a^{2k}}{k^2} = \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} \, \text{Tod} \, \mathcal{S}.$
- $\lim_{n\to\infty}\lim_{a\to 1-0}\sum_{k=1}^n\int_0^a\int_0^a(xy)^ndxdy ~~ は ~~ \sum_{k=1}^n\int_0^a\int_0^a(xy)^ndxdy ~~ \mathring{\mathcal{D}} ~~ a~~ \in ~~ (0,1) ~~ \mathfrak{T} ~~ \to ~~ 様 収 束 するから,$
- $\lim_{n \to \infty} \lim_{a \to 1-0} \sum_{k=1}^{n-1} \int_0^a \int_0^a (xy)^n dx dy = \lim_{a \to 1-0} \sum_{k=1}^{\infty} \int_0^a \int_0^a (xy)^n dx dy = \sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{k^2} \text{ T.S.}$